

かけはしがわ
梯川重点区間改修事業の促進
ひきてい
～大規模引堤による治水安全度の向上～
梯川水系梯川（石川県小松市）

1. 事業の概要

1) 目的

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中する一方で流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している前川合流点（河口から1.0km）～鍋谷川合流点（河口から7.6km）間を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。

また重点改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

2) 全体計画

築堤、旧堤撤去、橋梁架替、排水機場改築、分水路整備等

2. 事業の経緯

平成8年度の着手以降、河川改修に必要な用地取得、補償や引堤による堤防整備を実施しており、平成17年度に前川合流点（河口から1.0km）～丸の内町（河口から2.9km）間の大規模な引堤が完成しました。

3. 平成18年度事業の内容

平成18年度は、引堤による流下能力の向上に向け、九竜橋川排水機場の移設及び、小松大橋架替等を推進します。

